

2015年3月26日

各位

小野薬品工業株式会社

高校生・中学生を対象とした認知症に関する出張特別授業実施について

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：相良 暁、以下「当社」）は、事業活動を通じて、社会の持続的な発展への貢献に努めています。

2014年度からは、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）活動の一環として、高校生・中学生を対象とした認知症に関する出張特別授業「認知症になぜ国家戦略なのか」を実施してきました。

出張特別授業は、日本の65歳以上の高齢者のうち4人に1人が認知症およびその予備軍といわれ、政府が認知症の人に対する支援の強化を国家戦略として正式決定するという状況のなかで、日本の将来を担う高校生・中学生に認知症への理解を深めていただき、社会での取り組みをともに考えることを目的として行ってきました。

2014年5月から2015年3月までの約1年間で、7つの中学校・高等学校で、認知症啓発ショートムービーの視聴および講師による講義、質疑応答という内容で実施しました。授業後に生徒から寄せられたアンケート結果からは「理解が深まった」という回答が約97%と、認知症について正しく学び、自分たちの身近なことと捉え、自分たちに何ができるかを考える有意義な機会になったことが伺えました。

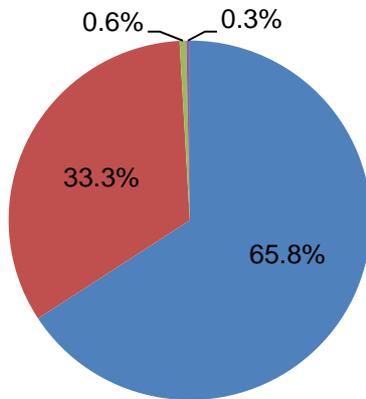
当社は、今後も出張特別授業などの取り組みを通じて、認知症についての正しい情報や接し方を伝え、製薬企業としてのCSR活動に取り組んでいきます。

<出張特別授業「認知症になぜ国家戦略なのか」の概要>

<実施実績>	関西大学高等部（大阪府） 立命館高等学校（京都府） 洛星中学校（京都府） 大谷高等学校（大阪府）	西大和学園高等学校（奈良県） 京都学園中学校（京都府） 甲南高等学校・中学校（兵庫県）
<参加生徒総数>	合計 1,025 名	
<授業内容>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症啓発ショートムービー「バアちゃんの世界」視聴 ・ 講師による講義「認知症になぜ国家戦略なのか」 ・ 講師との質疑応答 	
<講師>	京都大学医学部附属病院 神経内科 講師 武地 一 先生	

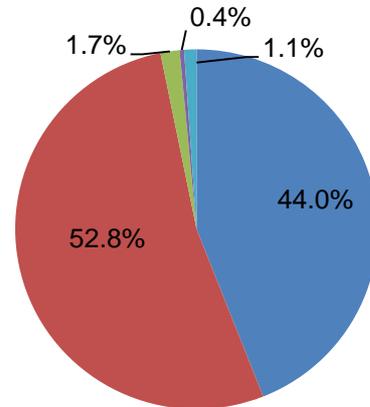
<授業実施後のアンケート結果について>

◇あなたは「認知症」について
知っていましたか？



- 知っていた
- 名前は聞いたことがあった
- 知らなかった
- 無回答

◇授業を聞いて「認知症」について
理解が深まりましたか？



- とても深まった
- 深まった
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった
- 無回答

◇生徒さんの感想抜粋

自分とはあまり関係のないものだと思っていたが、実際は 400 万人以上の認知症の人がいて、自分の近くに存在しているということを感じた。

認知症は負のイメージで偏見を持つ人が多いが、そういった固定観念を社会全体でなくしていくことが大切だと思った。このような講演で学んだことを私たちが周囲の人に広げていくべきだと思った。

認知症は精神的なものが原因だと思っていたので、医学的なメカニズムがわかってきていることを知り感心しました。お年寄りになった親の介護は、育ててくれたことへの恩返しなのかな、と感じました。

僕たちはまだ若いですが、今のうちから認知症についてよく知る必要があると感じた。将来のために何ができるか考えたいと思った。

今後、高齢化していく社会の中で、認知症の人と接することが多くなると思います。そのときは偏見を捨て、優しく接したいと思います。

認知症の人を否定しないことが重要だとわかりました。介護する側も傷つくことがあり、周りの人が皆で助け合うことで負担を軽くするべきだと思いました。

認知症は現段階では完全に治すことができないので、私たちが頑張って研究していかなければいけないと思いました。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

小野薬品工業株式会社 広報部

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950